

サタデープログラムニュース

講座番号 17 番 講座時間 第一部 (9:30～11:00)

Good Life ～医師から見た人生

～

講師：皆川光先生/福井聡介先生/早川俊輔先生

2004年 3月 東海高校卒業 (第56回卒業生)

第104回 医師国家試験合格

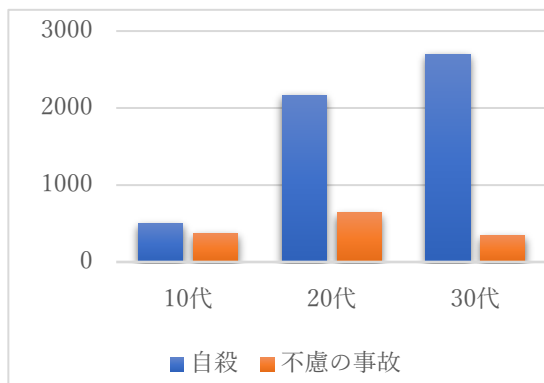
現在は 皆川先生…大阪大学 小児科

福井先生…名古屋大学 腎臓内科

早川先生…名古屋市立大学 消化器一般外科

●今の人生、満足していますか？

今、世の中の10代から30代の死因ナンバーワンは自殺です。左のグラフ



は厚生労働省が発表したデータをもとに作った自殺と不慮の事故の件数を比較したものです。

死因は圧倒的に自殺が多く、このデータは世界的に見てもとても多いもので、日本の今の社会を表していると言っても過言ではありません。

も過言ではありません。

今、世の中は競争が激しくなり、会社で人を育てていくという風潮が失われつつあり、大学を卒業したばかりの新卒社会人でも即戦力が求められています。

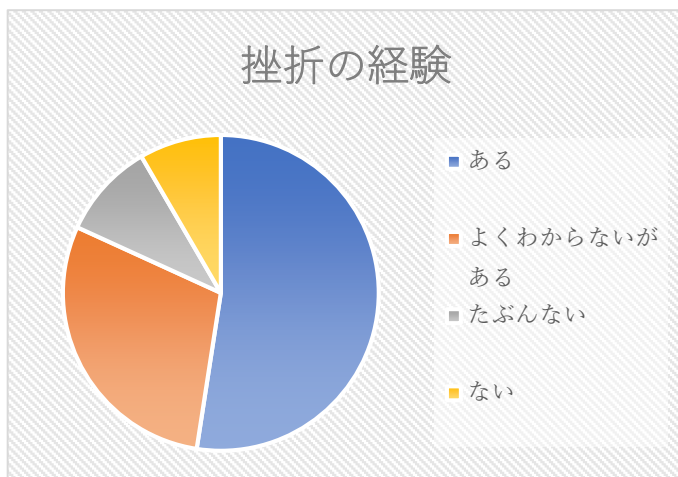
以前と比べて職場の輪が崩れ、個々の社員が孤立しているという空気が当たり前になってきているのも、このようなデータが生まれる原因かもしれません。

●挫折するということ

人は誰でも挫折することがあります。「テストでいい点が取れなかった」「試験に落ちてしまった」など人それぞれいろいろな挫折があると思います。

それは医者も同じで、皆川先生も大きな挫折を経験したことがあります、そのときは相当なショックを受けたそうです。そんな

とき立ち直ることができたのは、友達からの励ましもあり、時間が経つにつれて少しずつ受け入れていくことができたそうです。挫折を経験することで成長することができたと仰っていました。



●人生とは

皆川先生は、人生とは何かが残ることであり、自分は何を残すことができるだろうかと日々考えていらっしゃいます。先生のモットーは、医師として患者の命を救う手伝いをし、その人たちに満足できる・納得できる毎日を送ってもらうことです。また、日常を楽しく過ごすこと、そのためには独りでいるよりも色んな人と時間を共有し、他の人と意見を交換し、互いに認め合っていくことが重要であると仰っていました。

そのため、私たち高校生は文化祭や体育祭といった学校の行事や、部活、習い事などを通じて、様々な人たちと触れ合っていくことが重要と仰っています。

●当日は

当日は本校 OB の皆川先生、福井先生、早川先生を学校にお迎えし、生まれてきてから死ぬまでの人生について、内科医、外科医、小児科医の 3 つの立場から、一緒に考えていきたいと思えます。

医者や福祉を志している方、生死についてちょっと考えてみたい方、気づいたらなんとなく毎日が過ぎていってしまっている方など、皆様のご参加をお待ちしております。 村上 (HIK)